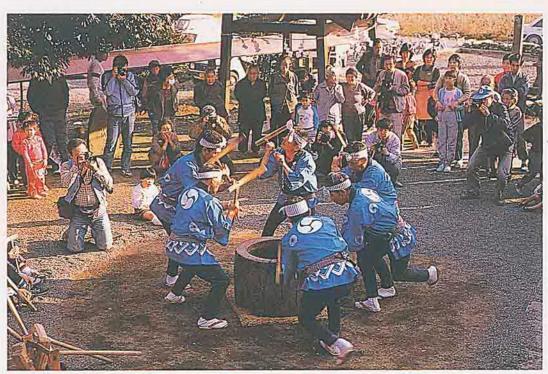
図書館だより

埼玉県立図書館

34号



>せいろを持って登場する「せいろ

力強くつく「大杵の

(東松山市広聴広報係提供)

上がる。

列となり、 能が伝えられているが、この餅つき をかつぎ、華やかに神社に練り込む 月の末に五穀豊穣を感謝して行われ 踊りは、東松山市の金谷地区で十一 併つきが始ると、身振りおもしろ 県内の各地にはさまざまな民俗芸 大木造りを唄いながら杵 音頭をとる人を先頭に二

く「大杵の早づき」で終る。素朴な明が明われ、最後に大杵です早くつ明が明われ、最後に大杵です早くつ 中に変化に富み、餅をつく喜びがあ

昭和62年12月1日

編集·埼玉県立図書館

発行·埼玉県立浦和図書館 館長杉山泰之

浦和市高砂3-1-22

72 (0488) 29-2821

金谷の餅つき踊

広 報 委 員 会

は、思わず観衆の中から拍手が沸き 上高く巧みに持ち上げられる場面で ぼ練り上がった餅が、三本の杵で頭 両かぶり」などが順次演じられ、 良い。この日は一日中顔がほかぶ。仕事冥利に尽きると言

したので、 いる。今回 れ、国立国

っても に浮制 に浮制

得かぶ。仕事冥利こと、帽子をか 関ルを着た子供達の顔が今でも

図

小室英夫 人生は白駒の隙を過ぐるが如し 此の頃、とみに漢語が好きになった。年齢ということもあるかも知れた。年齢ということもあるかも知れたいう星報に耐えて生き残って来たという星報に耐えて生き残って来たわけだから、それだけの魅力を内にわけだから、それだけの魅力を内にわけだから、それだけの魅力を内におけだから、それだけの魅力を内におけているためだろう。最近の流行で違うのである。人生は白馬が走り過ぎるのである。のを僅かな戸の隙間から見るように短いものであるという意味だが、今春定年退職した私にとって、三十五年余の教員生活は正しく白駒の隙を過ぎるようなものであった。

痩馬の

た方だから御存知の向きも多いと思社会教育の分野で県立博物館長、図社会教育の分野で県立博物館長、図社会教育の分野で県立博物館長、図 である。 て御指導を頂いた。なお、私ある。私も二年間、学校で上 高校で教鞭をとられたことも 作者は松庵、江袋文男先生いうと私はすぐ此の句を思

図書館長を三年間拝命したこともあるので、館長の先輩でもあられるわるので、館長の先輩でもあられるわけだ。 奇縁といえるかもしれない。また先生は秩父事件の研究の開拓者の一人で、「秩父騒動」という著書もある。県立熊谷図書館長時代、エリアである秩父へは度々行かれたらしいから、この句にある峠は秩父の春、重い荷をいた峠で、背中から湯気を立てながら荷を下ろしている。その姿に定年の自分をオーバーラップさせると、が」の間に過ぎないけれども、やせきている時間は、時には苦しく長い時間でもあった。しかし、楽しかったことも数多くあった。今回はその楽しい思い出を高校長時代、図書館長時代に分け、一つずつまずは書いて見たい。

をされていた。四 図書館の施設をご

読書感想文全国入選表彰式 私は昭和五十二年十二月から四年 私は昭和五十二年十二月から四年 いう学校図書館の泰斗がおられ、県 いう学校図書館の泰斗がおられ、県 がすら、冷暖房完備の立派な独立

になる伝統校だが、農村地帯にある。ので生徒は概して温和、純朴である。ので生徒は概して温和、純朴である。ので生徒は概して温和、純朴である。とかし、芸書活動は実に活発で、他校に比し相当抜きん出ていたと思う。その成果の為だろうか、例年行われる全国学校図書館協議会主催、毎日日、会食を御一緒するというが御夫妻があって、「がラスのうさだ。セレモニーが終り、豊太子御夫妻がお出でになり、会食を御一緒するというが御夫妻があって、「がラスのうさだ。セレモニーが終り、豊太子ナ島に得難いイベントもある。入選者の在籍学校も表彰されるというので私も出が、セレモニーが終り、豊太子大の市高には、東京会が御夫妻を中心に始まり、皇太子殿下のお言葉があって、「ガラスのうさだ。セレモニーが終り、皇太子殿下のお言葉があって、「ガラスのうさだ。セレモニーが終り、皇太子殿下のお言葉があって、「ガラスのうさだ。中心に始まった。東京会がの食堂は三百人近くもいただろうか、相当混み合っていた。フト気付くと一緒にいた被表彰者の女生徒がいない。バイキング料理なので手間いない。バイキング料理なので手間いない。それにしても、大分時間がかかるなと思っていると、

間もなく開校六十年

上気した顔をして戻ってきた。聞けば、妃殿下と五分もお話をしたと言う。そして妃殿下は彼女の感想文を読んでいらっしゃったので会話は大層楽しかったと言っていた。入選作品を全部お読みになり、記憶されている御夫妻の御努力に改めて敬服したが、同時にこの頃の高校生の物情にしない、積極性に富んだ行動には心から恐れ入った次第である。県立川越図書館に着任した最初の年の十二月の初め頃、近くの幼稚園の生徒達が二十人程鉢植えのシクラメンを持って訪れた。館長室はいます。これからも元気でお仕事にいます。これからも元気でお仕事にいます。これからも元気でお仕事にいます。これからも元気でお仕事にがまなり、先生の司会でしばらく雑談をした。子供達の話で結構図書館にた。小さな手を挙げての質問もあった。「毎日どんなお勉強をしているのが判った。「毎日どんなお勉強をしているのが判った。」ととないます。 たのを覚えている。それにしても、のですか?」と聞かれて返答に窮し

め 4 IJ

日部市立 武里図書館

なるものだから毎年同級会を行ってそれとして、年を取ると人が恋しく業年月日は絶対に忘れない。それは

う数字の羅列のお蔭で、高校文科を卒業した。こ

を主なサービスエリアとして七年間を主なサービスエリアとして七年間を生なサービスエリアとして七年間を生物も老朽化し、利用増などで施設建物も老朽化し、利用増などで施設の改善を望む声が高まり、新しい図書館の設置となりました。図書館は、武里大枝公民館の二階に図書館は、武里大枝公民館の二階に図書館は、武里大枝公民館の二階に図書館は、武里大枝公民館の二階に図書館は、武里大枝公民館の二階に図書館は、武里大枝公民館の二階に図書館は、武里大枝公民館の二階にの書館は、武里大枝公民館の二階にの書館は、武里大枝公民館の二階にの改善を表記とし、書架の色館内は、白色を基調とし、書架の色館内は、白色を基調とし、書架の色で一般開架室(白)と児童開架室(イレンジ)として明るい色で統一(オレンジ)として明るい色で統一(オレンジ)として明るい色で統一(オレンジ)として明るい色で統一(オレンジ)として明るい色で統一(オレンジ)として明るい色で統一(オレンジ)として明るい色で統一(オレンジ)として明るい色で統一(オレンジ)として明るい色で統一(オレンジ)として明るい色で統一(オレンジ)として明るい色でありませた。 館は、東武伊 館は、東武伊 て住宅公団武里団地(人口約二万人)しています。以前は、武里分館とし 地域の図書館をめざして 東武伊勢崎線武里駅西 H 蔵書は、約五万冊でこの 。 以前は、 武里団地名店街の近 分、 武里団地名店街の近 が、 武里団地名店街の近

は、国立国会図書館の副館長に就任れ、国立国会図書館の一人が昨年幕見学した。一世下八階、地上四階の新見学した。地下八階、地上四階の新見学した。地下八階、地上四階の新見学した。地下八階、地上四階の新記図書館の条例も整備され、県立川書館設置の条例も整備され、県立川書館設置の条例も整備され、県立川書館設置の条列も整備され、県立川書館設置の条列も整備され、県立川書館である。いろいろと問題も最近は地方である。いろいろと問題も最近は地方である。いろいろと問題も最近は地方である。いろいろと問題も最近は地方である。いろいろと問題もあり、不可とな点は多々あるかもしれないが同様によった。図書館は一世であると言えるだろう。

マはよる図書館資料の検索を即時にできるようになりました。この他、 リクエストによる図書館資料の検索を即時に す。武里図書館は、オーブン以来利 再数が増加しておりいまの推移では、 年間二四万冊が見込まれるところで す。武里団地を中心に武里地区をサ す。武里団地を中心に武里地区をサ てあります。 あります。利用者自らコンピュー。利用者検索用の端末機も用意し出し(LDは除く。)も行っていまり一一○余点あり視聴できるほか、 と思います。



TEL ○四八七一三七一 大枝八九番地二街区一棟 大枝八九番地二街区一棟 -三七一七六二五 鉄筋コンクリー

(3) 埼玉県立図書館だより 第34号

育のあり方に、心からの拍手を送り 物に感謝し、公共物をみんなで大切 にしようという習慣の確立を目指し にとようという習慣の確立を目指し で全力投球しているこの幼稚園の教

で全力投球してい ないと思う。

モア・タイム 総理府の調査結果によると「自由総理府の調査結果によると「自由総理府の調査結果によると「自由総理府の調査結果によると「自由総理府の調査結果によると「自由総理府の調査をは物やお金だけではないということにやっと気付き始めた証左だろう。生活の時間が広がり、を証左だろう。生活の時間が広がり、た証左だろう。生活の時間が広がり、た証左だろう。生活の時間が広がり、た証左だろう。生活の時間が広がり、た証左だろう。生活の時間が広がり、

書館の時代であると言って良い。 時間がほしいという人々の増加は八 十年代の象徴的な現象と言えるが、 この人々の要求に応えることのでき るのは図書館である。八十年代は図

埼玉の文学 埼玉の歌

人

2

平 万 里

校高等科を卒業、郁 に短歌の 歌会に出席する。三十六年、 等学校に入学。 筆名孤影で掲載される。 正則英語学校へ通うかたわら、 机る。三十四年、郁文館中学を卒業圏外の影響で短歌を作り始めたとい る。このころから文学に興味を持ち、校高等科を卒業、郁文館中学に入学すになる。二十九年、本郷区立駒本小学 る。この年新詩社社友となる。三十五 つくり「明星」 で文房具店を開く 大宮市)に、 して生まれる。 3 上京し本郷森川町に住む。 月二十五日、 万里の本名は久保。 0) 「明星」 万里は鴎外の長男於菟が平野 ほか詩も発表、 生んだ近代歌 北足立郡遊馬村 「文庫」 にはじめて短歌一首 郁文館中学を卒業。 森四外の離婚にか 初めて新詩社の 母タカの次男と などに投稿す 号を吊影、 六歳の時一 父はここ 「明星」 野万里が 第一高 詩歌を 乳兄弟 现 to

百 か を「明星」に発表、 強い情熱を注ぐ。 神明町に下宿する。この年から詩作に 国大学工学部応用化学科に進み、 を佐久良書房より刊行する。 十八年、 を除き短歌を「明星」に発表する。 により号を万里とする。この年、 軽づ 四十年三月、処女歌集「若き日」 にも寄稿する。 一首を収めたものである。 くる風そよそよと、 九年に至る三年間の、 第一高等学校を卒業、 三十九年、 小石川久堅町に移 「帝国文学」 花罌粟の 三十七年 詩や翻訳 短歌四 東京帝 駒込 一芸

まで、鉄幹、北原白 二人やかれてれる。 は、その中にして君を守るべし おれ一語、恋ふるといひぬ、熱し ては喉ふたがり死ぬべく思ふ。 万里の歌集はこの「若き日」のみであ主情的浪漫調の歌で占められている。 る。この年に圏外が興した観潮楼歌会 「美く 似る君ねむらせぬ、山の夜の月 春の日 たのしき夢はひろごりにけり。 しき少女と美しき神」 の燃ゆるが中を往かしめよ、 北原白秋、 七月末から八月末 に寄せた。 - 奎太郎、

埼玉県立図書館だより 第34号

らに弔影と改める。 与謝野鉄幹のす 85

月)、「わが窓」(十月)、 四十一年 白秋ら新詩社退社のあと、 大学卒業。

この に発表。 説」に寄せ、 省命により欧米出張。 世界大戦勃発。 に演劇通信を送る。三年八月、第一次通い、四月から九月にかけ、「スパル」リンに滞在。余暇をみて劇場や画廊に リンに滞在。余暇をみて劇場や画廊に命ぜられてドイツに赴く。二年、ベルル」に発表。十二月、満鉄より留学を (大正元年)、 どを「スバル」に発表。四十三年、 年にかけて、 験所の技師として大連に赴く。 歌「寒夜」(一月)、戯曲、 横浜市根岸に移る。短歌「我妹子」(二 「スバ ル」創刊。横浜硝子製造会社に就職、 行に努力する。四十二年一月、 を補佐し、「明星」の編集に尽力す -一年七月、 農商務省技 助外を顧問とする「スパル」 ル」に発表。三月、満鉄中央試 十一月に帰国する。 省技師とよう。 週町中六番町に住む。八 小説、翻訳などを「スパー 鴎外全集の編集に従っ 小説、小品を「スバル」 「森先生の輪郭」を「新小米出張。十年七月、帰国 の発刊に参画、 小品、小説な 小説などを 「明星」 「スバ の刊 3 短 終

吉井勇と九州地方を遊歴する。 が町に移る。 愛人玉野花子を失う 駒込神

短歌、

翻訳を発表する。

十三年

1

Jin 月

鉄幹宅に復活された新詩社歌会に参

鉄幹 に移る。六年、与謝野寬短歌全集の編集者になる。十年三月、鉄幹死去の際、 集者になる。十年三月、鉄幹死去の際、 業務委員長をつとめる。五月、早稲田 大学で鉄幹追悼の講演を行う。十三年 三月、健康を理由に商工省を退官。十 六年十二月、「古今朗詠集」を編集刊 行する。十七年五月、与謝野島子死去 「スバル」時代の万葉 弟の情誼を尽くし、 遺稿の となり、創刊号発行を目前にした二月心に第三次「明星」刊行がきまり顧問、出十二年、与謝野光を中 年十 0 ないのが惜しまれてい 自の作風への展開の後、 合成染料会社長。 その他に追悼談を書く。 芝白金三光町に移る。 に発行所をおく。 柏」が創刊され、 日急逝する。没後の二十四年七月、 際 昭和三年、 面誼を尽くし、新詩社と共に生きた。万里は終生、鉄幹、晶子の師の「晶子鑑賞」が三省堂から刊行 葬儀委員長をつとめ、 新詩社の機関誌として歌詩「冬 への展開の後、大きな変貌のが尊ばれているが、そのため 、旧新詩社同人と共に自宅で会社長。二十年、辞任。二十年、辞任。二十年、日本 二十二年、 杉並阿佐ケ谷に移る。 発行主任となり 3 杉並下萩窪 「冬柏」 自 $\mathcal{I}_{\mathbf{i}}$

酒

●県立図書館の年 年末・ 月 5 年始の休館日 火

12月 3月の

0

名作

内日 容 「森は生きている」他

- 日内日内日時容時容時 郷 ・4 3 利 14時 ・4 3 利 14時 2月25日(木) 「ふるさとの祭り」他 「俳人長谷川かな女」他 1月21日(木) 14 時 14 時
- 内容 H 時 0 新春親子映画会 「ガンバと七匹のなかま 1月9日出 14 時

内容

「絵馬づくり」他

内容

11 ぴきの

ねこ」他

10

時

14

時

0

県立久喜図書館

時

.

- 内容 時 土曜映画会 「エイズを科学する」他 2月13日出 3月5日出 14 時 14 時
- と人々の生活」他 時 「幕末太陽伝 12月12日(出)

時

14

時

- 科学文化映画会
- 「ナイル川

県立熊谷図書館 文芸講演会

演題 講師 会場 日時 「生命(いのち)の感受性」 落合惠子氏 上里町中央公民館 12月12日出 13時半 15 時半

.

郷土を知る映画会~埼玉

のまつ

内容 内容 日内日時容時 EI 時 時 0 7 3月5日出 「カサブラン 「細雪」 「羅生門 2月6日出 12月5日出 映画鑑賞会 カ 10 時 10 10 時 時・ 14 時 14 14 時 時

島)」他

(鶴ケ

内 日 時 1月6日(水 12月25日倫 ビデオ「スノ 10 7 時 ン」他 時

日時 0 定例映画会 「平仮名の表現」他 15 時

内容 0 ビデオコンサ 14

・映画会

内容 日時 県立川越図書館 • 名作映画会 月 23 日(土) 時 渡辺美里」

> 内容 H 時 「みよし野の里」 12月17日(木) 「徒然草」「枕草子」 日本の文学 10 時 14 時(

> > 内 日 時

「暦と太陽の文明」他

月28日休

時

.

内容 「四年に一度の大雨乞(館「大野の送神祭(都幾川)」 12月 18日金 時

演講会日東題師場時 移 立松和平氏(作家) 立松和平氏(作家) 立松和平氏(作家) 「私の文学放浪」 時

3

スライド 11 「赤穂義士伝 12月15日火 「赤穂義士伝・ 12月10日休 他 浪曲シリ ・南部坂雪の別 14 時 14 時. 殿中刃傷」他 ズ

内 日 内 日 容 時

内 日 内容 時容 内 日 時 日時 「友誼の門 「枕草子」他 12月3日 1月21日 「宇宙・地球のこと」他 12月17日休 他 10 時 · 10 14 時 時・ 14 14 時 時

県立各館へおたずねください。 主催館(■印)が会場です。詳細 全ての催し物は無料です。

細れる

内容

内容 日時 特別映画会 「古都」 1月29日金 14 時

●冬休みあとおなごり映画会 「ぼくの熊おじさん」 1月8日金 13時半 14. 時半

※県立図書館特別休館日のお知らせ

浦 和	熊谷	川越	久 喜
3月7日(月)~3月16日(水)		2月22日(川)~3月2日(水)	
移動奉仕	・視聴覚業務	は平常どおり	行います。
移動拳仕	・視聴覚業務 0485 23-6291	は平常とおり 0492 44-5602	行います。 0480 21-2659

秩父事件史料一

補卷

埼玉新

秩父事件史料集成1

昭 46

54

か組

59

(4まで

幻の革命

版会 と解説 料を含

む)の中から、

図書の

財著 新日本出版 秩父国民党の農

秩父事件文献総覧

(新編埼玉県

史

別冊) 埼玉県

昭

自由民権運動研究文献目録

年. 昭 59

国集会実行委員会編

三民

一部を

わ 読

紹

か な

谷 市

A活動の一 も今年で十 当初は三十余名の大世帯でしたが 十二年三月、 年目を迎えました。 環として発足した読書会 小学校のPT

どもが卒業すると、

会員も一人二

用となった様です。 小宮山氏の講演を聴く機会がありま五十四年十一月、ある出版社社長 でおります。 いながら自然とのふれ合いを楽しんには野山を歩き日頃の運動不足を補 きく人数にまとまりました。十年の人と少なくなって現在では小回りの 月一回の例会、 文学散步、 春と秋

学に転向 した。 「上田」にお店があるの 大人の世界に絶望し、 した氏の言葉に心痛 田を散策して を聞いて、 いた私達は 児童文

一階はその出版社の本を展示販売、 二階は喫茶食堂になっていました。 遅い昼食をいただき、可愛い絵入り の本を何冊か買い求めました。子の お店の名が "わかな" でした。丁度 会の名称を思案中でしたのでその場

日ですが、 も読みつづけていきたいと思ってお心豊かな人間になれる様、これからを楽しく読ませていただき、せめて 図書館からお借りする本

(原田くに子)



旭

日頃、 ともす れば流されそうな毎

(霧ヶ峰高原にて)

咲き乱れる桐生・B 又

会と改められました。その会と改められました。その 構成されております。 参加者を得、 当初は小学校の図書室を会場とし 現在八十一名の会員で 四十六年旭小PT 後に旭読書 の後多くの

つ一員として共感と新鮮さを感じま至った報告がなされ、同じ目的を持 も参加しました。各読書会共それな「ふれあい広場」が開催され旭読書会 協議会の活動に参加しております。 発展的活動をすべく本庄市読書連絡 ら諸活動を行ってきましたが、より この間会員の意見交換をはかりなが 話し合いを持ったこともありました 動してきました。途中、 て県立図書館からの配本を中心に活 今年八月本庄市立図書館で第三回 本をもとに

乱れる桐生・足尾方面を訪ねまの中、萩やヒガンバナ等秋草の、文学散歩では初秋のさわやか

日頃御指導

市 かる吊

大さを肌に感じ目を見張った一日で大さを肌に感じ目を見張った一日で大さを肌に感じ目を見張った一日で にしみました。 橋を渡

庄

も会員の皆様と共にこの会を大切に 人と人との出合いを大切にし、 "読書は楽しく読むこと" を胸に 今後

(茂木勝乃)



勇治執筆 しらこばと選出) のうち) 酒

秩父事件

(新編埼玉県史資料編19

政治

行政1

埼

四 58

化 森山軍治郎著 代の 株の 秩父困民党 昭 56 昭 54 株山軍治郎著 筑摩書房(講談社現代新書) 井出孫六著 講談社

埼

資料展から

秩父事件(長野県史近代史料編3 ー 近代・現代5 社会・労働1 埼 玉県 昭57 のうち)

江袋文男著 大和学芸図

自由民権関係文献目録

日本図書館協会

昭中

造著

新人物往来社

昭 53 関東地方を

57

しています。 しています。 しています。

株父事件 自由 井上幸治著 中公新書)

向著 中央公論社 昭29 自由民権期の農民蜂与

43 起

民党の農民

蜂起

「秩父事件

五自由民権運動 町村会議日誌

民権運動研究会編

埼玉新

のうち)

(埼玉自由民権運動史料会議日誌 明治12年11月22

から

中心として起こっ年余り前、自由民権の

下吉田

久長·阿熊·

上日野沢連村

22

秩父事件関係資料

6

秩父市立

植·選挙

長野県

II召 58

0

図書館編

. 成

社 昭49 日由民権の民衆像 秩公 由自治元年 井出孫六編著 秩父事件資料 現代史出 株父騒動 57

こばと選書) III 50 埼玉新聞社 秩父事件 順末記 50 浅見好

秩父事件 上 埼玉新聞 埼玉新聞 社 昭の 51 近代

雑録を併成)

昭 52

(秩父暴動

中千弥日記 刊行済)

大村進ほか編

助論 千頓 秩父事件百年 業実行委員会 嶋寿著 年 秩父一○○年記念事機分養 田畑書房 昭58 昭 59

裁かれる日々 大父事件と明治の

株父事件と明治の

大父事件と明治の

大公事件と明治の

大公事件に対する

大公事件に対する

大公事件に対する

大公事件に対する

大公事件に対する

大公事件に対する

大公事件に対する

大公事件に対する

大公事件に対する の裁

秩父事件 写真でみる秩父事件 秩父事件を歩く 秩父悲歌 秩父事件の心と風土 秩父事件と秩父市 (秩父市誌 秩父 埼玉の暴動(自由党史昭60 (日評選書) 店 昭2 (岩波文庫)の 遠山茂樹・佐藤誠朗校訂 警察本部 水武甲著 品川栄嗣著 昭37 (埼玉県警察史] のうち 存秋社 新人物往来社 1 のうち) 井上光三郎· 井上光三郎· 昭 46 埼玉県

古くから名醸で知られた酒には、奈良酒、河内の天野酒、越州・豊原酒、河内の天野酒、越酒、備後の吉備酒、豊後の麻地名によるものが多く、酒銘とはいえない。

十二の読書グル

ープ、

第九回

「本を読む県民 0

つど U

市・埼玉会館に集い、第九回「本を読む県民のつどい」が盛大に開催されました。 四文庫が表彰される一

書グループとして、桶川市の笑読書 しにて読書推進運動協議会の優良読 上にて読書推進運動協議会の優良読 上にて読書推進運動協議会の優良読

当日は、主催者側のあいさつ、来 資祝辞、そして表彰行事の後、「読 書会もり」の市原礼子さんから、月 に一度の読書会が子育ての中で、貴 重なひとときであったとの体験談が 発表され、続いて、「日の出文庫」 の辻俊子さんからは、文庫運営上、 の辻俊子さんからは、文庫運営上、 について報告がありました。 記念講演には、漱石研究や小説の 記念講演には、漱石研究や小説の 記念講演には、漱石研究や小説の について報告がありました。

会に表彰状が伝達され ました。



生との師弟関係等の逸話を支えなが生との師弟関係等の逸話を支えなが

表彰された読書グループ及び文庫

参考文献

間 江戸時代、またはそれ以前 に酒に銘をつけていたのか。. 標をいい、本来は登録されている。

「江戸時代図誌」第18卷 院摩書房 「酒の事典」外池良三著 東京蒙出版 「酒の事典」外池良三著 東京蒙出版

酒に銘をつけたのは、一説によれば、中世の文明年間(一四六九年一四八七年)に洛中の有名な「大柳(おおやなぎ)酒屋」が、その酒に「六星紋」をつけたのが、一番古いという。そして、江戸期になると、池田、伊丹、灘目、京などにたくさんの有名な銘柄が続出する。それは「江戸流行名酒番附」や「江戸積銘酒大寄」などの酒の銘柄の番附表、また「浮世風呂」・「柳多留」などのたくさんの



知ることができる。

かがい 知

後記

のむぎ読書会(寄居町) すずし り(草加市) みぬま読書会(鳩 (長瀞町) 及葉読書会(本庄市) (長瀞町) ひ葉読書会(本庄市) 子どもと本を読むあゆみ会(白岡(久喜市) はづき読書会(幸手市) ○読書グル 町 ろ読書会(岡部町) 若葉会 (行田市) おがわ連合

〇文庫 市) たけのこ地域文庫(大井町)庫(所沢市) びよびよ文庫(坂戸 庫(所沢市) ぴよぴよ文庫(坂戸日の出文庫(桶川市) おとぎ文

来もひときは美しい頃となりました。 薬もひときは美しい頃となりました。 本号には「図書館周辺の思い出」と題して、元県立川越図書館局辺の思い出」と題して、元県立川越図書館の時代である」と明言された先生のお言葉には、図書館関係者として大いに勇気づけられました。 生涯学習のうねりが広がりつつある現在「八十年代は図書館の時代である」と明言された先生のお言葉には、図書館関係者として大いに勇気づけられました。 今年も残すところあと一ヵ月となり、何かと気ぜわしい時ではありますが、来たるがき新じい年が良い年となるよう、この一年を振り返って、心静かに反省してみるのも必要かと思います。